

様

頸椎前方手術の入院日程表

受持医: _____

	入院～手術前々日	手術前日	手術当日(/)		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～10日目	手術後11日目～退院
月/日	/ ~ /	/	手術前	手術後	/	/	/ ~ /	/ ~
検査 治療 処置		必要があれば、除毛や爪切りを行います	手術着に着替えます	手術後、酸素吸入をします ネブライザー吸入をします	採血(1・3・7日目)、レントゲン撮影(2・3・7・14日目)を行います		呼吸状態に応じて酸素吸入を止めていきます	
点滴 注射 内服	飲んでいる薬を確認します		普段服用している薬があれば別紙(薬の服用中止指示説明用紙)に沿って服用して下さい 食べたり飲んだりできないので点滴をします 手術直前に抗生剤の点滴を行います 手術着に着替えます	抗生剤の点滴2回を行います 痛みに応じて坐薬・注射の鎮痛剤を使用できます	抗生剤の点滴を8時と14時に行います	抗生剤の点滴を10時と22時に行います 鎮痛剤の内服を開始します		
食事	患者さんの状態により食事を出します	夜9時以降何も食べないで下さい 水、お茶は飲んでも構いません	朝から何も食べないで下さい 朝7時まで水、お茶は飲んでかまいません		のどの腫れがあるので食事は食べられません	とろみがついた食事から再開します 水分はとろみをつけて飲んでください	状態が良ければお粥から米飯になります 水分にとろみをつけなくてもいいです	
活動 リハビリ	自由	入院時の持ち物 入院日程表、入院のおしり、基礎情報用紙、入院診療計画書、入院証書 輸血承諾書、特別療養環境入室申込書、診察券、保険証、保証金 現在内服している薬、下着類、ティッシュペーパー、かかとのある靴、T字帯		手術後はベッド上安静です(看護師が体位を変えます) 膀胱内に尿の管が入ってます	カラーを着けて座ることができます 管を抜くことができます			入院前の歩行状態となり医師から許可が出れば退院可能です
清潔	自由	シャワーまたは体を拭きます			適宜、体を拭きます		医師に確認後、シャワー浴が行えるようになります	
説明 指導	承諾書(入院・輸血等)を提出してください 手術前日までに麻酔科外来を受診します(/)	薬剤師が訪問します	貴金属・指輪・時計・入れ歯・コンタクトレンズ・メガネ・ヘアピン等ははずして金庫内に入れてください	手術室の看護師が訪問します	麻酔科医が訪問します	フィラデルフィアカラーは術後3ヶ月程度は装着したままとなります。外す時期は外来で担当の医師に確認をしてください。		